

事務事業名	小学校施設整備事業		所属部	教育委員会	所属課	教育総務課				
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	教育総務・給食G	課長名	安部 栄司			
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	杉原 学		電話番号	0854-40-1071 (内線) 2271		
	目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。						
	基本事業	〈079〉学校の施設・設備の充実		予算科目	会計	款	大事業	大事業名	小学校施設整備事業・小学校総務管理事業	
目的・対象	児童・生徒	意図	学習しやすい環境で学ぶ。				項目	中事業	中事業名	小学校施設整備事業・小学校トイレ感染症対策事業・小学校施設小規模修繕事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
児童、市内小学校施設(15校)	学校施設設備の適切な修繕改修等整備により、子どもたちが快適な学習環境で学ぶことができる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	前年度に実施する小学校施設設備の修繕等要望ヒアリングを基に、当年度実施計画を立案し、修繕・改修工事に取り組んでる。また、計画外の緊急を要する修繕等についても、優先順位を付けながら適宜実施している。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) 【主要な修繕・改修工事】 ・西小学校 職員室空調設備更新工事 ・三刀屋小学校 公共下水道接続工事 ・田井小学校 地下タンクライニング工事 ・小学校(大東工区/加茂・木次工区/三刀屋・吉田・掛合工区)トイレ洋式改修工事	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 限られた予算を有効に活用するため、全小学校への修繕等要望ヒアリング結果から必要性の高い修繕箇所から優先順位を付け、効果的な事業実施に努めている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 修繕・改修工事実施率	%	98.6	94.3	94.5	95.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)	
[小学校施設整備事業] 需用費(修繕費) 6,829千円、役務費 989千円 工事請負費 9,790千円 ※地方債:合併特例債 [小学校施設小規模修繕事業] 需用費(修繕費) 14,440千円 [小学校トイレ感染症対策事業] 工事請負費 63,715千円 ※学校環境改善交付金、コロナ地方創生臨時交付金	財源内訳	国庫支出金	千円		63,715		
		県支出金	千円				
		地方債	千円		3,200	8,100	2,000
		その他	千円				9,000
		一般財源	千円	27,062	21,412	23,948	19,071
事業費計		千円	27,062	24,612	95,763	30,071	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	実施計画を基に建設部と連携しながら、適時適切に修繕・改修工事を実施しており、児童・生徒の学習環境及び生活環境の整備改善に取り組むことができた。また、計画外の緊急を要する修繕等についても、優先順位を付けながら、適時対応することができた。
② 事業実施するうえでの課題	学校施設は年々老朽化が進んでおり、適切な修繕・改修により改善を図る必要がある。限られた予算のなかで最大限の成果が得られるよう、優先順位を付けながら修繕・改修工事に取り組んでおり、本事業は適切に執行されている。
③ 課題解決に向けた改革改善等	雲南市学校施設整備保全計画に基づき、着実な施設改修を実施していく必要がある。